



DG Digital Garage

IT/MT/FT × OPEN INNOVATION

株式会社デジタルガレージ

2016年6月期 第3四半期決算サマリー

2016.5.13

 **Digital Garage**

2016.6期 第3四半期累計営業利益は、前年同期比41%増の31億円と過去最高益を更新

～ 売上高、営業利益、経常利益ともに過去最高を更新、東証1部へ市場変更 ～

I グローバルな投資エコシステムを推進

- 国内外投資ポートフォリオを順次売却、インキュベーション成果を実現。クレディセゾンがアイリッジに追加出資し、DGとの3社連携を強化
- 国内外の厳選した投資を継続し、投資残高は115億円まで拡大
- 「DG Lab構想」の取組み開始、オープンイノベーション推進へ。ブロックチェーン技術のBlockstream社への出資に続き、AI、VR/AR、セキュリティ、バイオテクノロジー等の戦略領域への投資を実行

II スマートフォン向け広告が順調に拡大、戦略的データマーケティング事業に着手

- スマートフォン向け広告が牽引し、前年同期比26%増収、税引前利益同13%増益
- データ関連事業等の新規事業領域への先行投資を積極化
- 大手クレジットカード会社のデータを活用したDMPの新たな取組みを開始予定

III 決済の収益基盤が拡大、次世代FinTech領域の取組みを始動

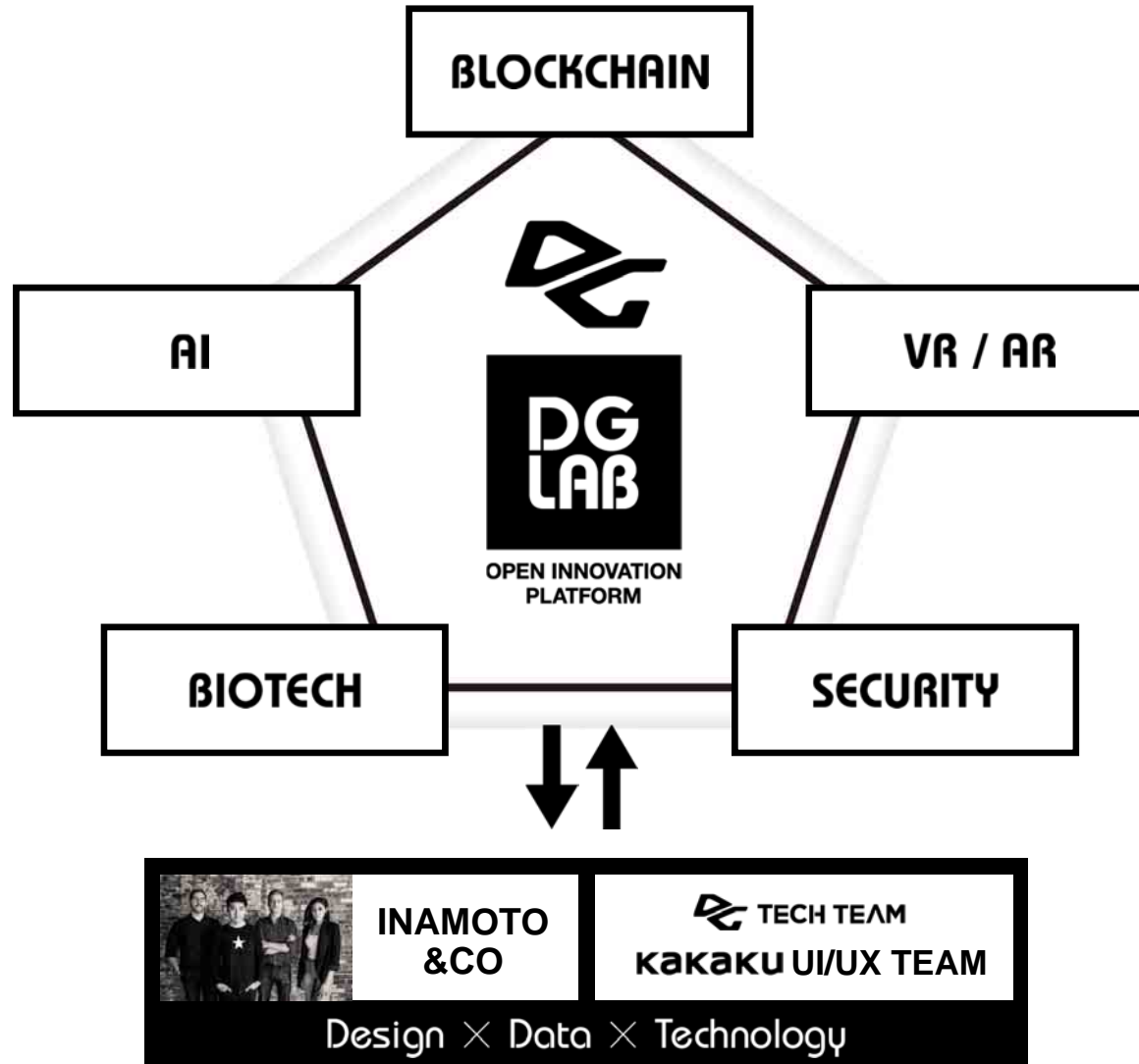
- 決済取扱高は前年同期比19%増の約8,600億円に拡大、営業利益は同30%超の大幅増益
- 大手金融機関に対する決済ソリューションのOEM提供が本格化
- 次世代型「スマート決済プラットフォーム」構築を視野、総合FinTechカンパニーへ



株式会社デジタルガレージは、東証第一部に上場しました。

日本で最初の個人ホームページを作成をきっかけとした創業以来、デジタルガレージはインターネットの歴史と共に20年間歩み続けてきました。インターネットによって花開いたオープンイノベーションの波は、いまやハードウェアやバイオテクノロジーまで巻き込み始めています。こうしてさまざまな分野で劇的な変化が起こることで、これからの20年は、これまでの20年に比べて技術進化がより一層激しさを増し、人々の生活を変えていくでしょう。その中でも私たちは、創業当時の「ファーストペンギン・スピリット」を持ちながら時代の先端を走り続けることで、世の中に役立つ事業を拡大していきます。デジタルガレージが切り開く次の20年にどうぞご期待ください。

東証第一部上場記念特設サイト <http://www.garage.co.jp/ja/tse1/>



次世代へ続くビジネスの オープンイノベーション プラットフォーム

DG Labでは「ブロックチェーン」「VR/AR」「AI」「セキュリティ」「バイオテクノロジー」を重点分野として選び、これらの分野で高いレベルの技術を持つ国内外の投資先企業と連携し、DGの新たな事業の柱となるプロダクトやサービスを生み出すことを目的とします。こうした分野において世界をリードする研究開発に関心のあるエンジニアやデザイナーが集まり活発に議論しながら開発に打ち込む、「テクノロジーのバウハウス」のようなイメージを持ち、グローバルのプラットフォームとなって、デザイン×データ×テクノロジーの3つが有機的に繋がる、新しい化学変化の場所を目指します。

【特設サイトURL】 <http://www.garage.co.jp/ja/tse1/#project1>

デジタルガレージのフィロソフィーを体現している方々を讃える 「デジタルガレージ ファーストペンギンアワード」を新設



第1回受賞者 本田圭佑氏

デジタルガレージは、科学技術やスポーツ、芸術などの分野でグローバルに先進的な取り組みを続け、後進の育成を積極的に行い、若い世代が目指すロールモデルとして活躍している方を、ファーストペンギンスピリットの体現者として讃え表彰する「デジタルガレージ ファーストペンギンアワード」を新設。第1回目はサッカー日本代表の中心選手でもある本田圭佑氏に授与します。授与式は、7月開催予定「THE NEW CONTEXT CONFERENCE 2016 TOKYO」に行う予定。

【特設サイトURL】 <http://www.garage.co.jp/ja/tse1/#project2>



最先端のインターネット技術がもたらす未来を考えるデジタルガレージ主催のカンファレンス開催

今年「THE NEW CONTEXT CONFERENCE 2016 TOKYO」として、7月5日と6日に永田町・赤坂見附にオープンする「紀尾井町カンファレンス」で開催します。テーマとして5日に「ブロックチェーン」、6日に「人工知能」を選び、例年通り最先端の話題を議論していく予定です。詳細は後日ご案内いたします。

THE NEW CONTEXT CONFERENCE 2016 TOKYO

開催日：2016年7月5日、6日

場所：紀尾井町カンファレンス

主催：株式会社デジタルガレージ

※11月にはサンフランシスコでも開催する予定です。

【特設サイトURL】 <http://www.garage.co.jp/ja/tse1/#project3>

業績レビュー



売上高は前年同期比20%増収、営業利益は同41%増の31億円と過去最高益を更新

～ 為替差損を計上も、力カクコムの特分法投資利益の拡大で経常利益は同4%増の45億円 ～

単位：百万円	2015.6期	2016.6期	前年同期比		2016.6期	
	3Q (累計実績)	3Q (累計実績)	(比率%)	(金額)	(業績予想)	3Q(累計)進捗率
売上高	26,264	31,474	+19.8	+5,210	41,000	77%
営業利益	2,199	3,104	+41.2	+905	5,200	60%
営業外収益	2,627	2,156	-17.9	-471		
持分法投資利益	1,522	1,687	+10.8	+164		
為替差益	689	-	-	-689		
営業外費用	435	678	+55.9	+243		
為替差損	-	400	-	+400		
経常利益	4,391	4,582	+4.3	+190		
特別利益	2,369	164	-93.1	-2,205		
持分変動利益	2,301	145	-93.7	-2,155		
投資有価証券売却益	68	-	-	-68		
税金等調整前当期純利益	6,666	4,735	-29.0	-1,930	8,200	58%
法人税等	2,275	1,412	-37.9	-862		
親会社株主に帰属する当期純利益	4,077	3,307	-18.9	-769	5,500	60%

IT、MT、FTともに2桁増収増益を確保、事業基盤を拡大
 ～ ITは税引前利益が前年同期比55%増の17億円と大幅増益を実現 ～

単位：百万円	2015.6期	2016.6期	前年同期比		2016.6期	
	3Q (累計実績)	3Q (累計実績)	(比率%)	(金額)	(業績予想)	3Q(累計)進捗率
売上高	26,264	31,474	+19.8	+5,210	41,000	77%
IT インキュベーションテクノロジー	3,720	4,421	+18.8	+700	7,000	63%
MT マーケティングテクノロジー	11,784	14,880	+26.3	+3,095	18,500	80%
FT フィナンシャルテクノロジー	10,758	12,172	+13.1	+1,413	15,500	79%
MI メディアインキュベーション	-	-	-	-	-	-
税金等調整前当期純利益	6,666	4,735	-29.0	-1,930	8,200	58%
IT インキュベーションテクノロジー	1,111	1,728	+55.4	+616	4,100	42%
MT マーケティングテクノロジー	840	947	+12.6	+106	1,390	68%
FT フィナンシャルテクノロジー	1,156	1,307	+13.0	+150	1,840	71%
MI メディアインキュベーション	3,812	1,878	-50.7	-1,934	2,500	75%
(内、持分変動利益)	2,301	145	-93.7	-2,155		

Note: セグメント税金等調整前当期純利益は、セグメント間取引消去及び全社費用等控除前

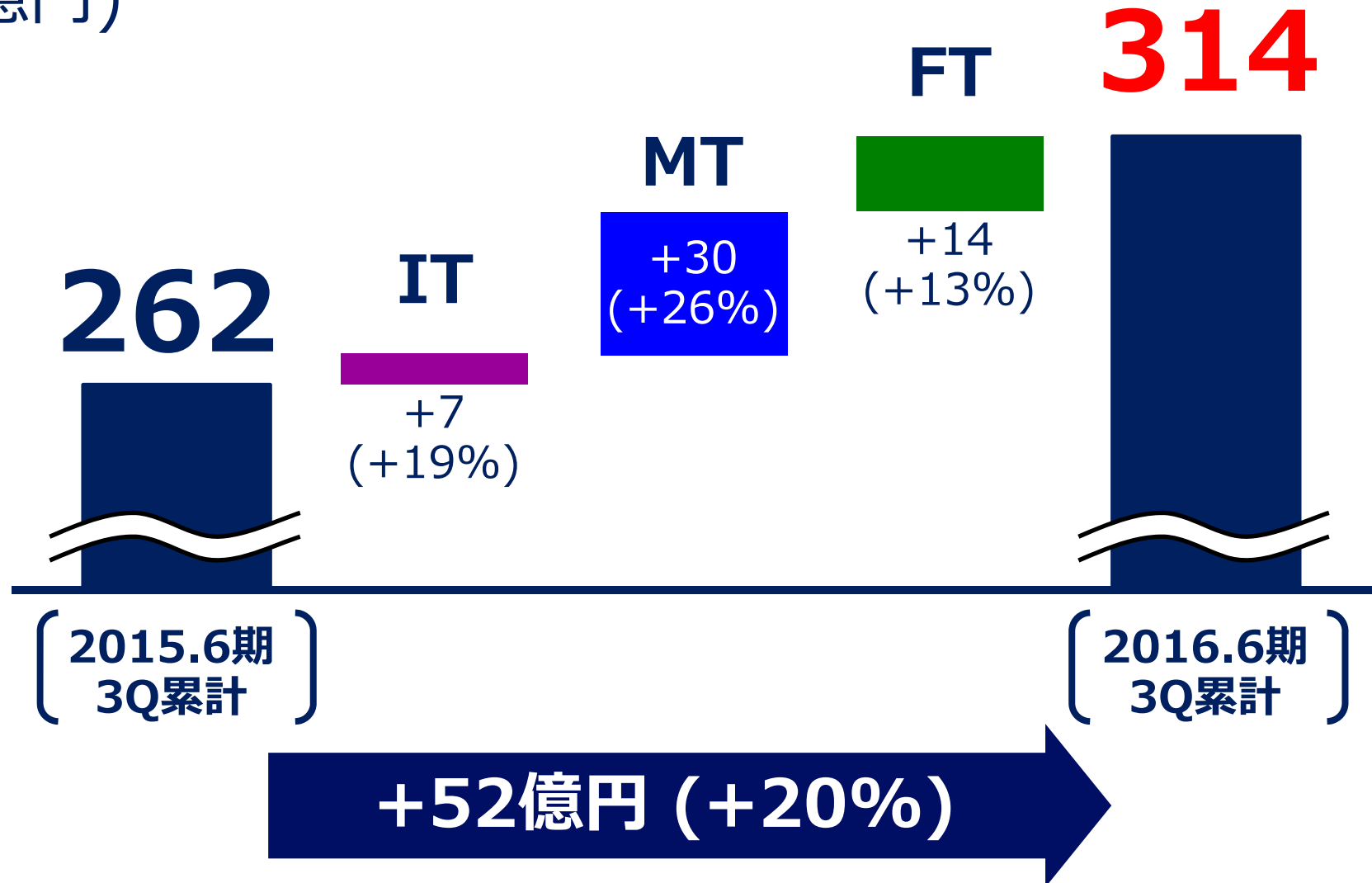


2016年6月期 第3四半期末 連結 要約B/S



(単位：百万円)	2015.6期末	2016.6期 3Q末	前期末比 (金額)	主たる変動要因/備考
流動資産	57,742	49,594	-8,148	
現預金	30,956	16,843	-14,112	法人税と配当金の支払、借入返済及び新規投資等
未収入金	11,646	13,714	+2,067	決済事業関連科目
金銭の信託	3,120	2,089	-1,031	決済事業関連科目
営業投資有価証券	8,208	11,651	+3,443	新規投資、投資先上場に伴う時価評価等
固定資産	28,752	28,924	+172	
投資有価証券	14,220	14,537	+317	営業投資有価証券への一部区分変更、持分法投資利益の取込、投資先株式の時価評価等
のれん	6,237	5,883	-353	
資産合計	86,495	78,518	-7,976	
流動負債	50,623	32,024	-18,599	
預り金	20,998	21,323	+324	決済事業関連科目
短期借入金	23,533	6,508	-17,025	econtext Asia社株式取得資金の借入の一部返済
固定負債	6,805	17,024	+10,219	
長期借入金	5,546	16,077	+10,531	長期安定的な資金調達による借換
負債合計	57,429	49,049	-8,380	
純資産	29,065	29,469	+404	
株主資本	24,640	26,752	+2,111	
資本金	7,426	7,435	+8	
資本剰余金	2,854	2,825	-28	
利益剰余金	14,429	16,561	+2,131	
その他の包括利益累計額	4,002	2,248	-1,753	
有価証券評価差額金	2,585	774	-1,811	時価のある有価証券の税引後含み益
負債・純資産合計	86,495	78,518	-7,976	

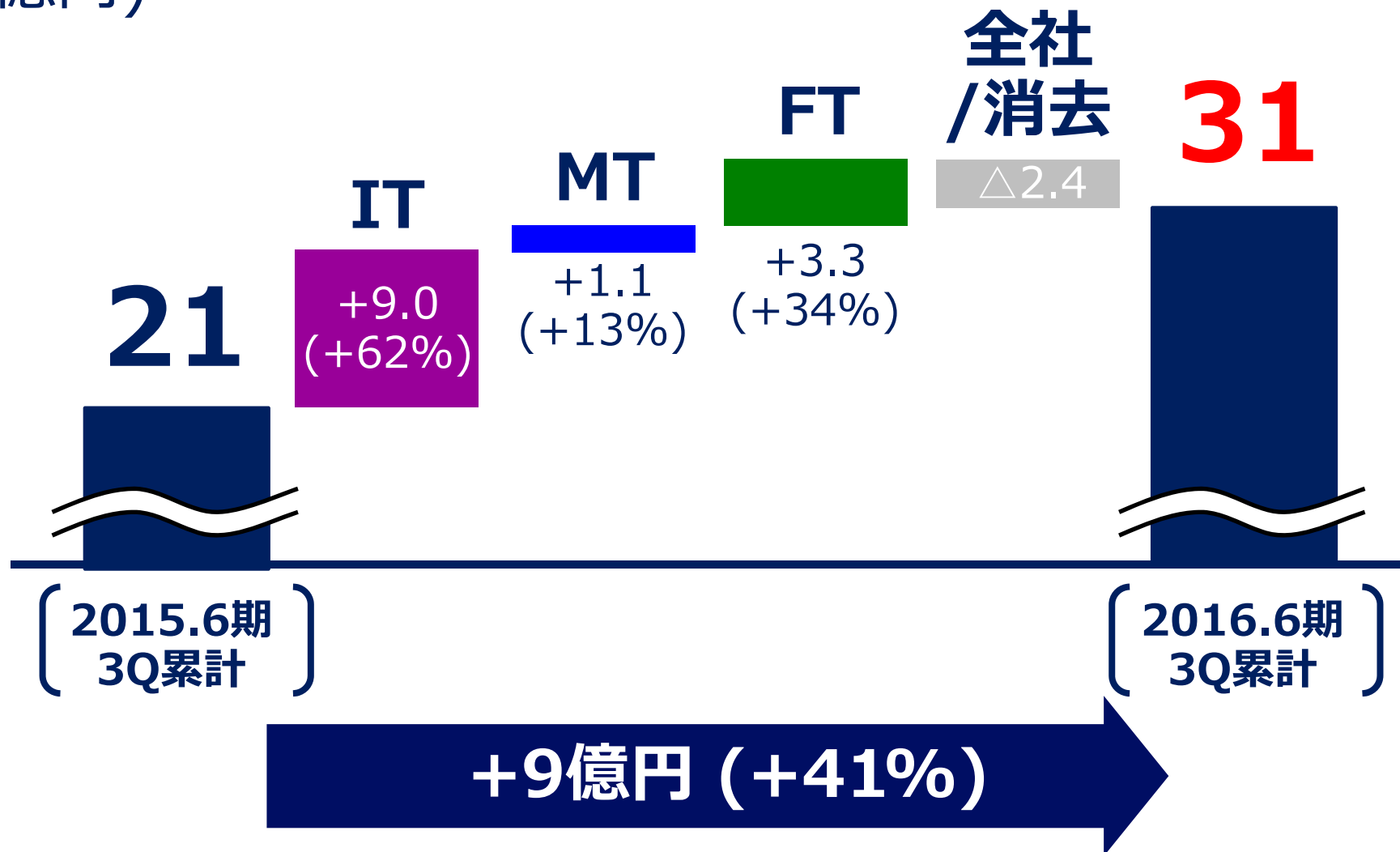
(億円)

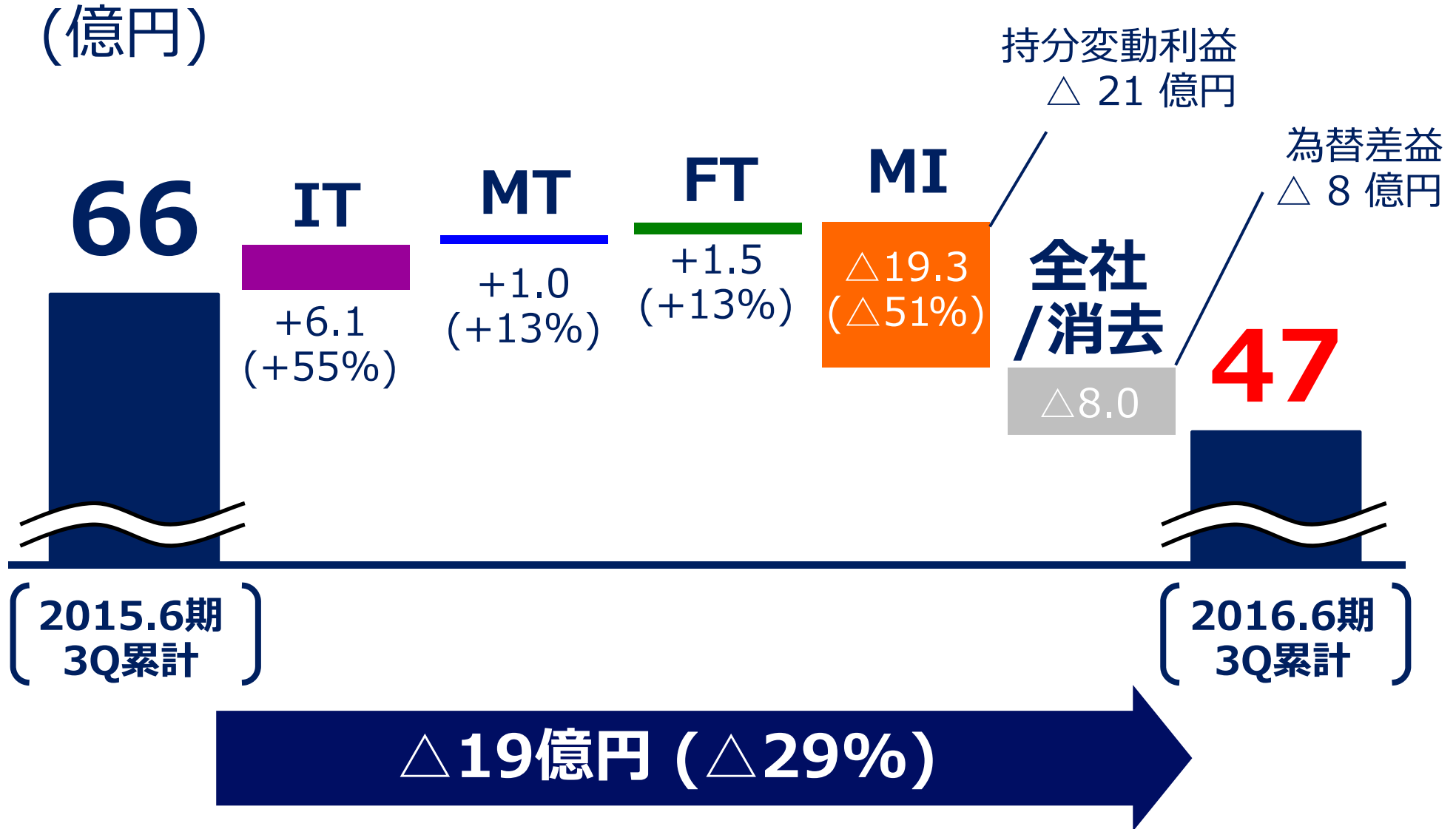




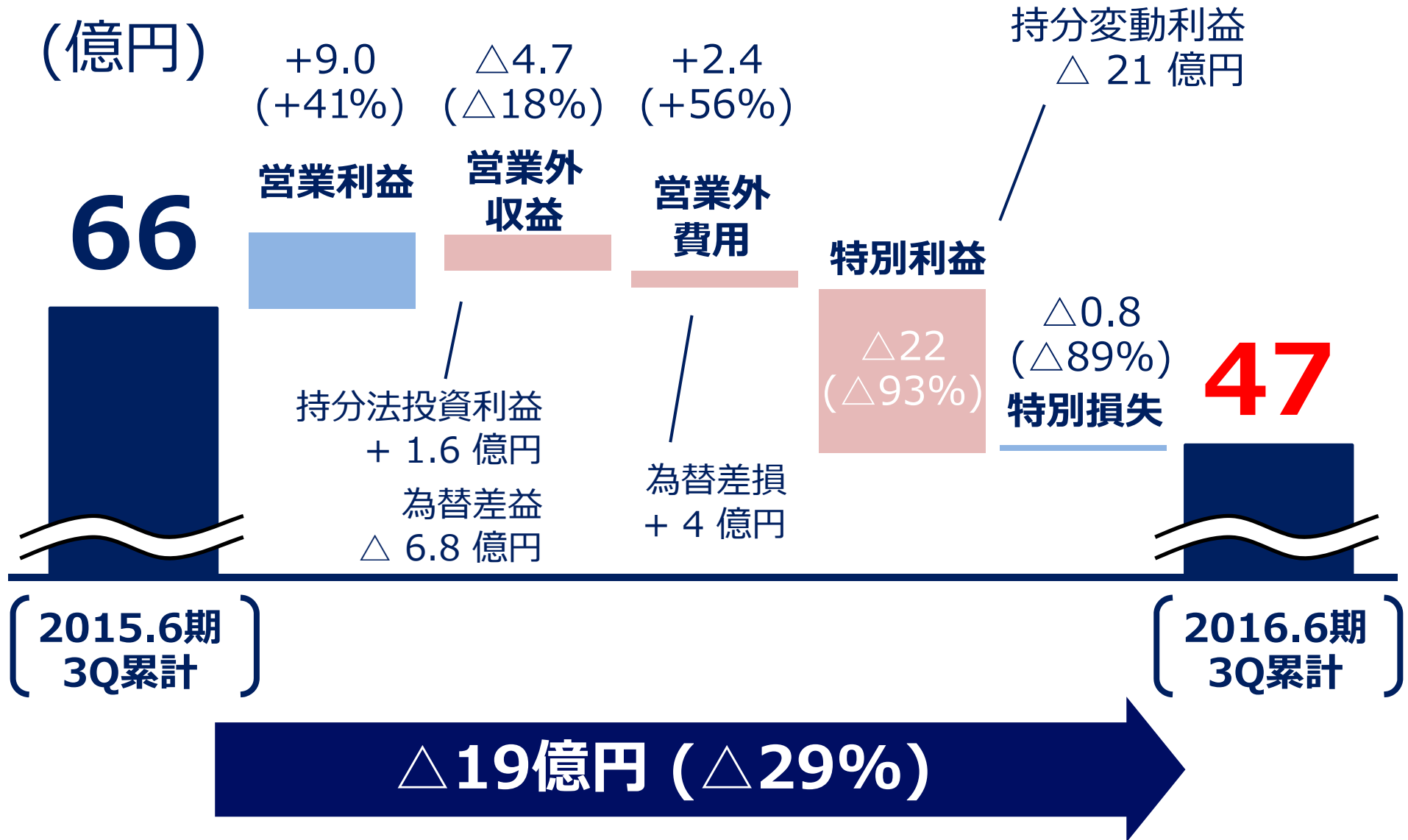
営業利益の増減要因

(億円)





税引前利益の増減要因 – 段階損益別



事業セグメント別レビュー



IT

- 国内外投資ポートフォリオを順次売却
- 海外投資を含め、投資残高は115億円まで拡大

MT

- スマートフォン向け広告が順調に拡大
- ビッグデータ関連事業のアライアンス推進

FT

- 決済の収益基盤が拡大、営業利益が大幅増
- 次世代FinTech領域の取組みを始動 (ブロックチェーン)

MI

- カカクコムの特分法投資利益が順調に推移
- ソーシャルグラフを活用した新規事業を準備

（ポートフォリオの状況）

	社数	投資残高
株式	116	107 億円
国内	35	20 億円
海外	81	87 億円
ファンド	6	7 億円
計	122	115 億円

注) DGインキュベーションの投資残高
上場銘柄は期末時価による評価額
株式は転換権付融資含む

主要なポートフォリオ

Blockstream [カナダ]



ビットコインのコア開発者を中心に設立。ブロックチェーンの多目的な応用を容易にするプラットフォーム技術「サイドチェーン」を開発

Increments [日本]



プログラマのための技術情報共有サービス「Qiita」を企画・開発・運営

Bridestory [インドネシア]



ブライダル系ベンダーとコンシューマをマッチングさせるブライダルメディアを展開

ウェルビー [日本]



慢性疾患、糖尿病、ガン患者向けのアプリを提供

Wevr [米国]



バーチャルリアリティの制作者や利用者向けの革新的なオープンネットワークである、「Wevr Transport™」を開発・運営

グッドパッチ [日本]



スマートフォン及びPC向けのホームページの受託開発やコンサルティングを手掛ける

Estimote [米国]



センサーの製造/販売と屋内位置情報テクノロジーソフトウェアにより、ビーコン・ソリューションを提供

ContextLogic [米国]



モバイルのショッピングアプリ「Wish」を運営。評価額10億ドル以上の未公開スタートアップを指すユニコーン企業として注目

パフォーマンス
アド売上

106 億円
前年同期比 **+43%**

スマホ/アプリ領域

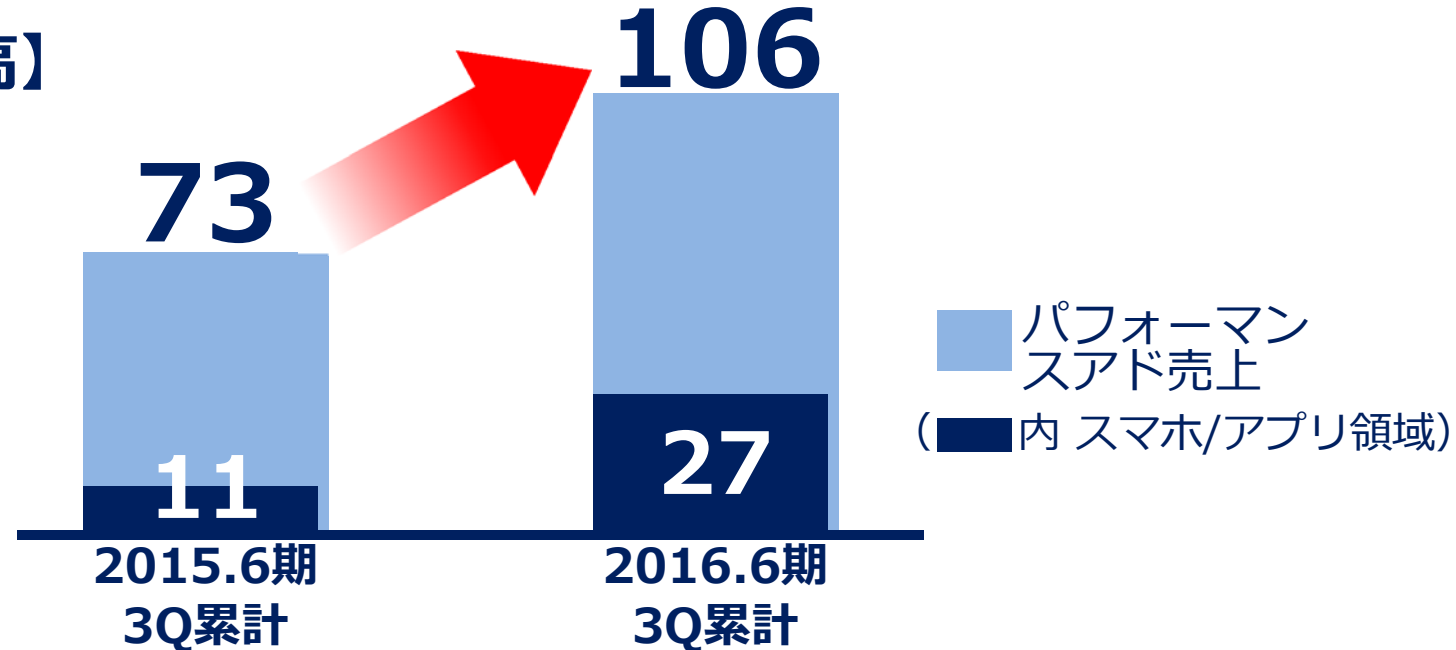
27 億円
前年同期比 **2.4倍**

スマホ比率

26%
前年同期比 **+10%pts**

パフォーマンスアド売上が前年同期比43%増
～ スマホ領域が引き続き高い成長率で牽引 ～

【売上高】
(億円)



◎ データ関連事業への積極的な投資を継続

- 大手クレジットカード会社との新たな取り組みを準備
- カード会社のデータを活用したDMP事業を加速

決済取扱高

8,562 億円

前年同期比 **+19%**

セグメント売上

121 億円

前年同期比 **+13%**

セグメント営業利益

13 億円

前年同期比 **+34%**

組織再編によるコスト削減が寄与、営業利益は大幅増
～ グループ内の経営資源の効率化が奏功 ～

(百万円)	15.6期 3Q累計	16.6期 3Q累計	前年 同期比
取扱高	7,208 億円	8,562 億円	+18.8%
売上高	10,758	12,172	+13.1%
営業利益	987	1,320	+33.8%
営業利益率	9.2%	10.9%	
税前利益	1,156	1,307	+13.0%

- ・デジタルコンテンツ等の取扱増加
- ・オークションやフリマなどスマホを中心とした個人間売買(CtoC)の成長

- ・組織再編によるコスト削減
- ・グループ内の経営資源の効率化

- 【前期 特殊要因】
- ・円安に伴う為替差益の発生
 - ・アジア投資のインキュベーション成果の実現

持分法投資利益 —

17 億円

前年同期比 **+15%**

税引前利益 —

18 億円

前年同期比 **△51%**

特殊要因 (前期) —

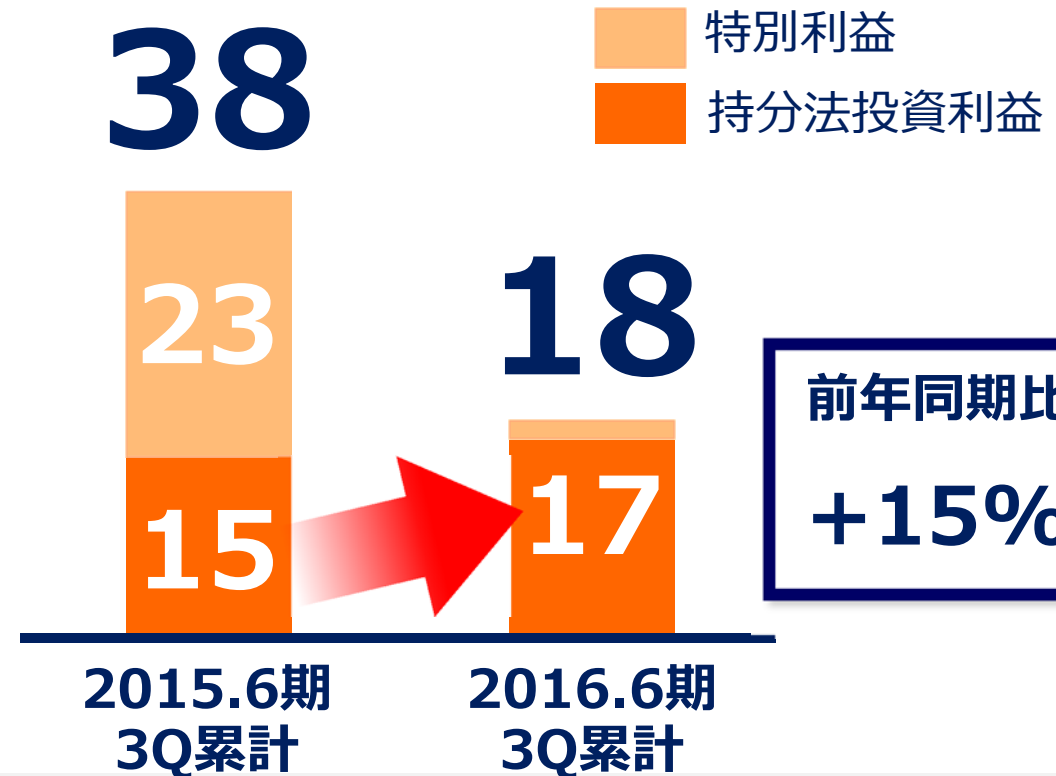
カカクコム自己株TOB
応募に伴う特別利益

22 億円

カカクコムの持分法投資利益が
順調に推移

【税引前利益】

(億円)



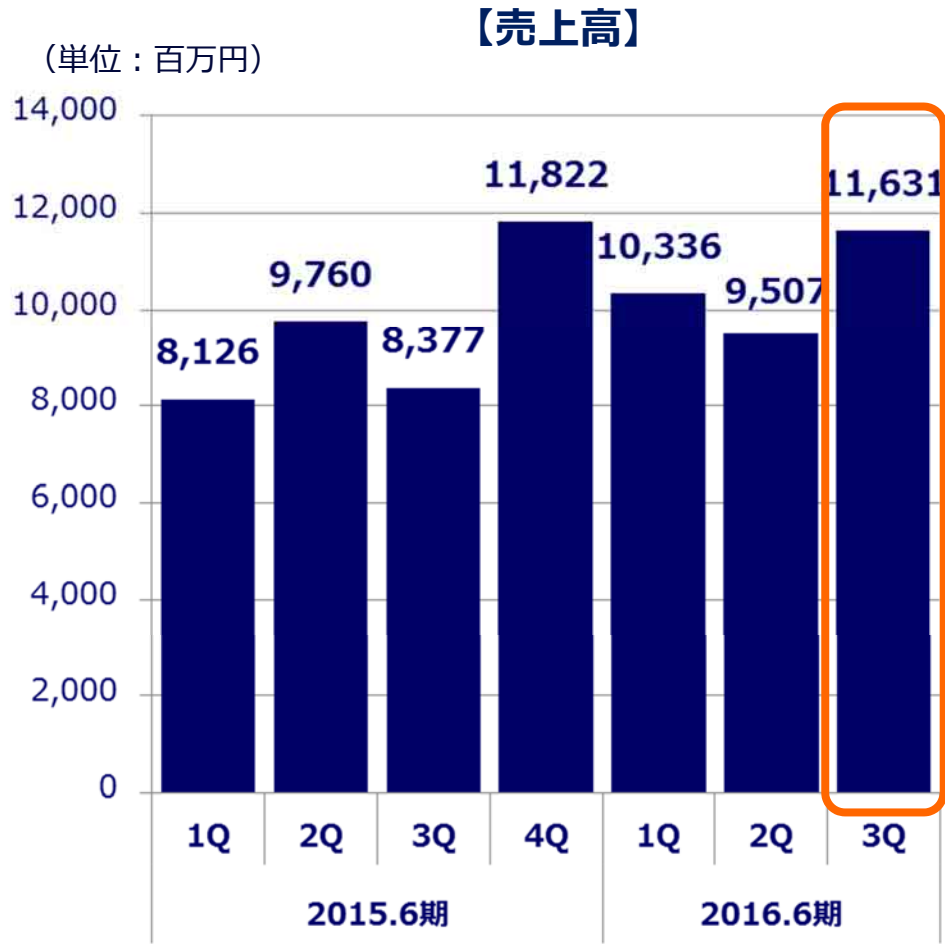
前年同期比
+15%

Appendix



2016.6期3Q(7-3)は、売上高前年同期比20%増収

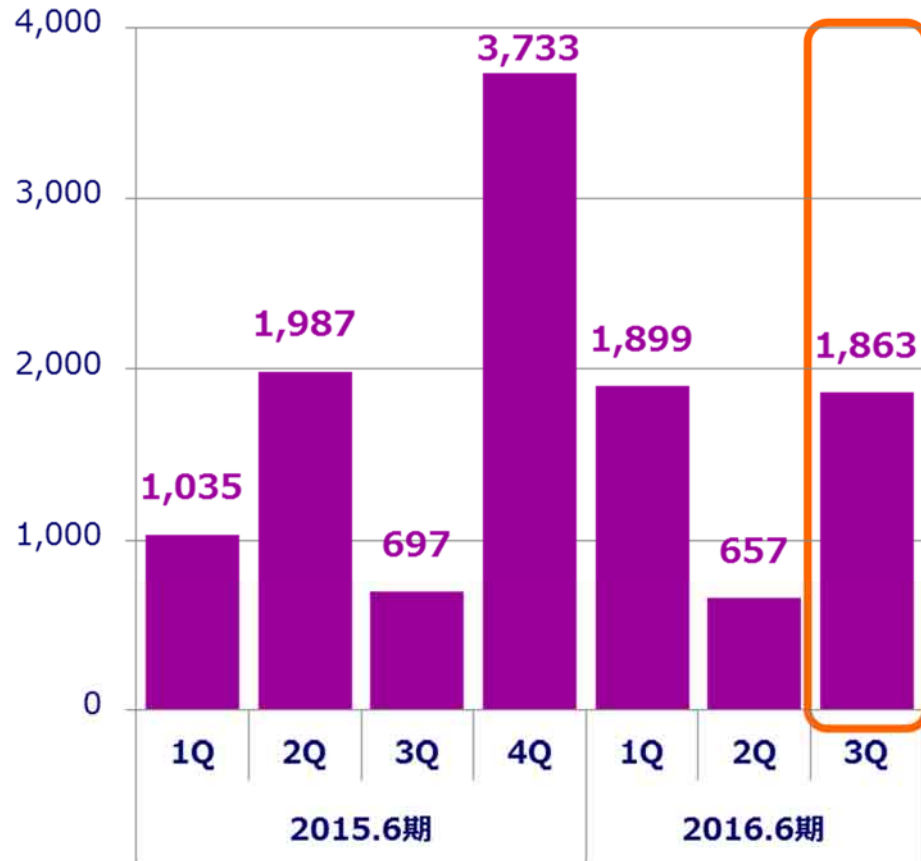
～ 売上高、営業利益、経常利益ともに第3四半期累計で過去最高を更新 ～



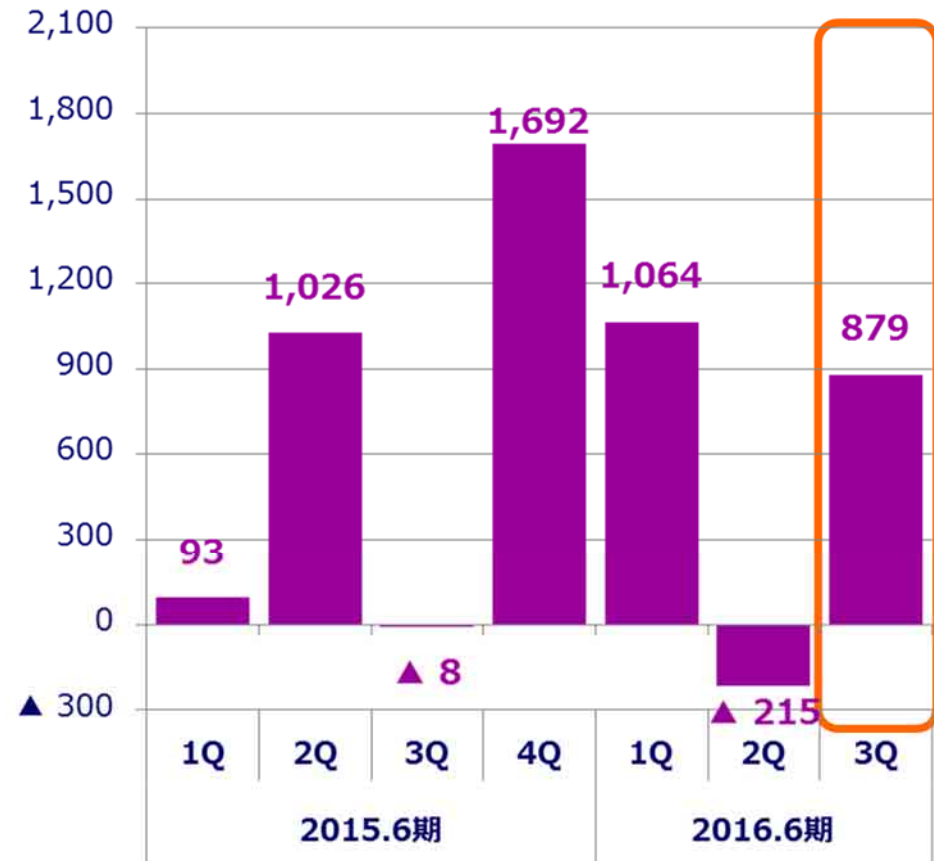
保有株式を一部売却、インキュベーション成果を実現
 ～ 国内外の投資ポートフォリオを拡充、投資残高は115億円まで拡大 ～

【売上高】

(単位：百万円)



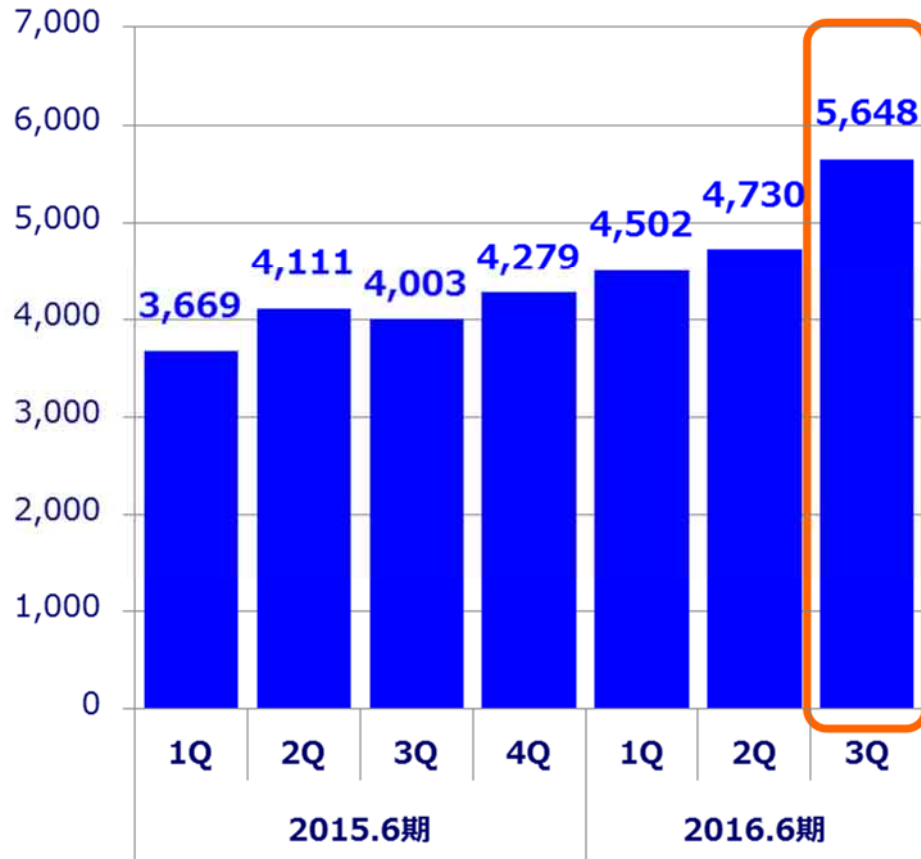
【税金等調整前当期純利益】



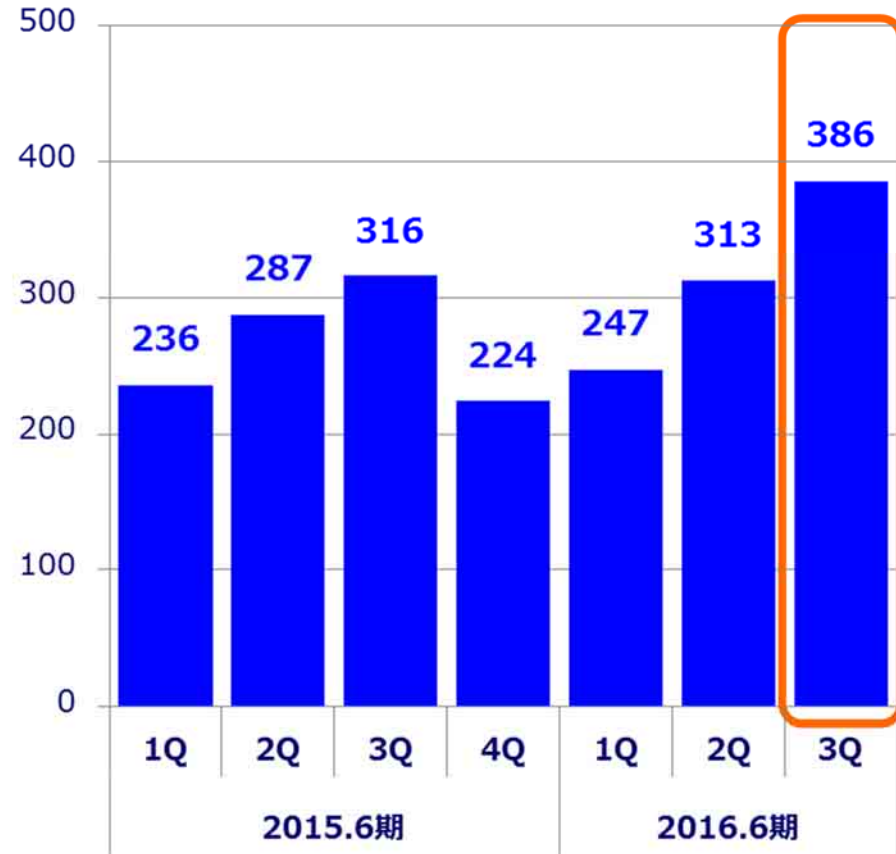
パフォーマンスアドに続き、スマートフォン向けアプリ広告が順調に拡大
～ データ関連事業への先行投資を積極化 ～

【売上高】

(単位：百万円)



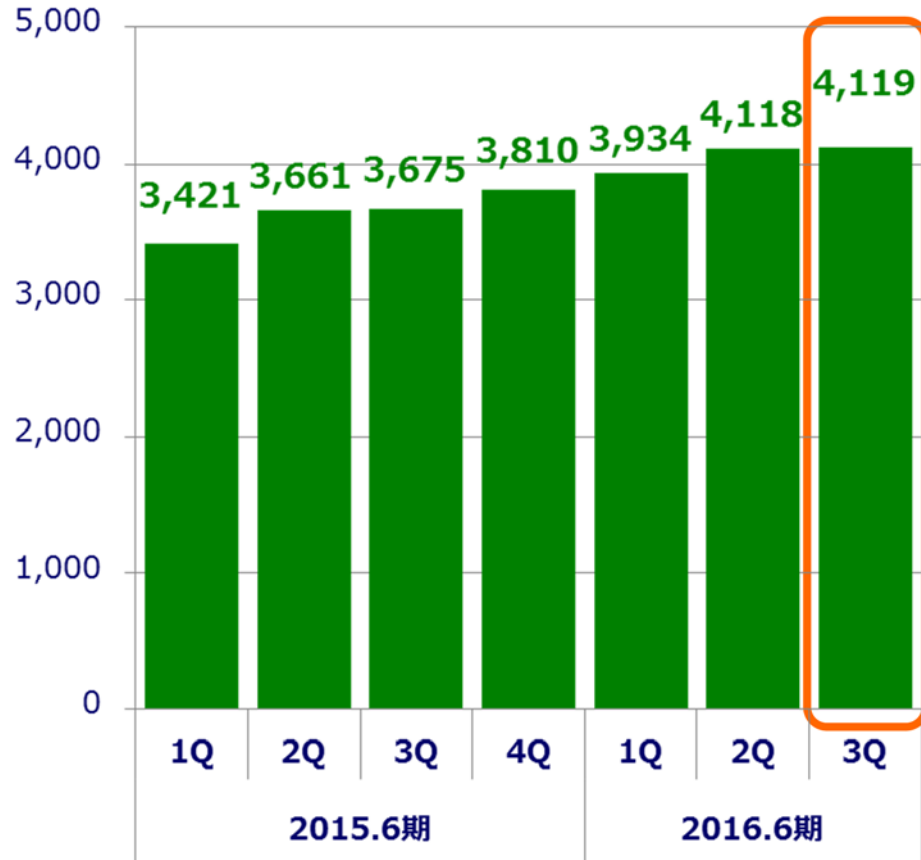
【税金等調整前当期純利益】



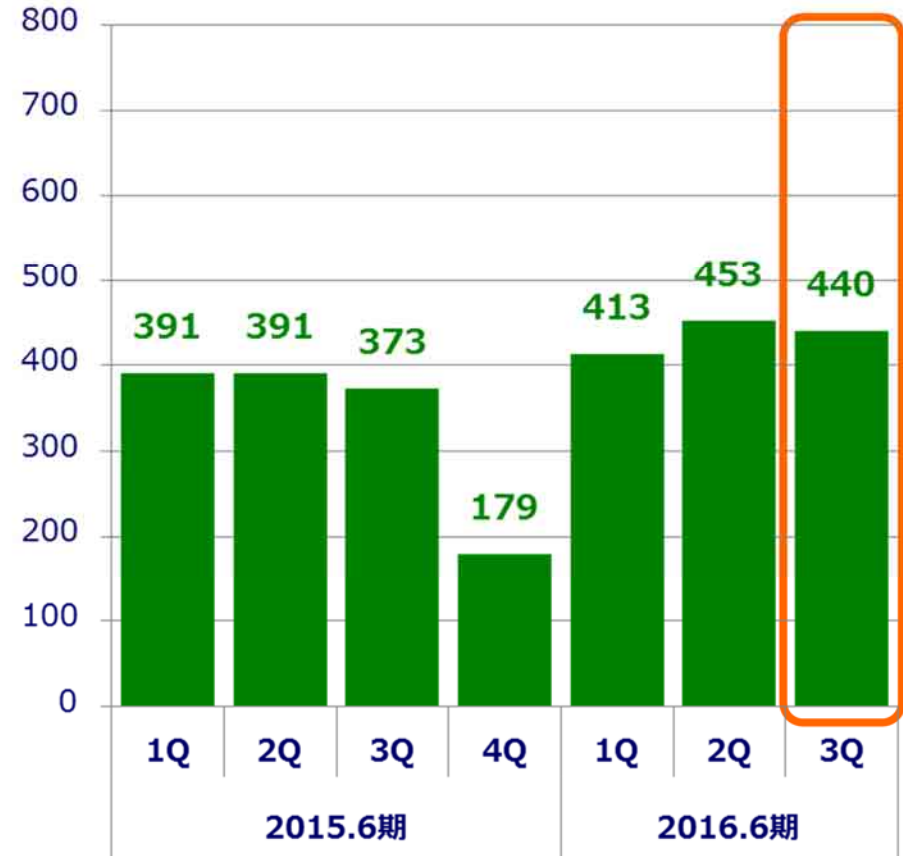
決済取扱高が大幅に拡大、売上高は前年同期比13%増
 ～ 非EC領域(飲食, 不動産等)での基盤拡大、金融機関への「決済OEM」提供を強化 ～

【売上高】

(単位：百万円)



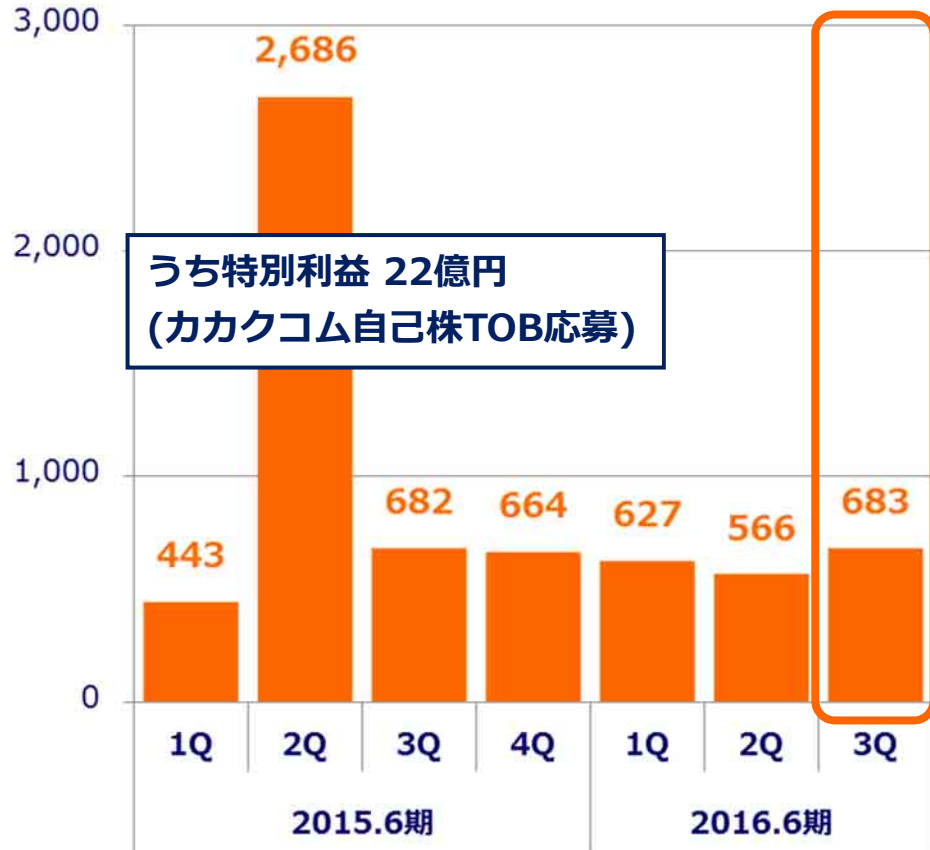
【税金等調整前当期純利益】



カカクコムの持分法投資利益が順調に推移 ～ メディアを核に、インキュベーション事業を立ち上げ～

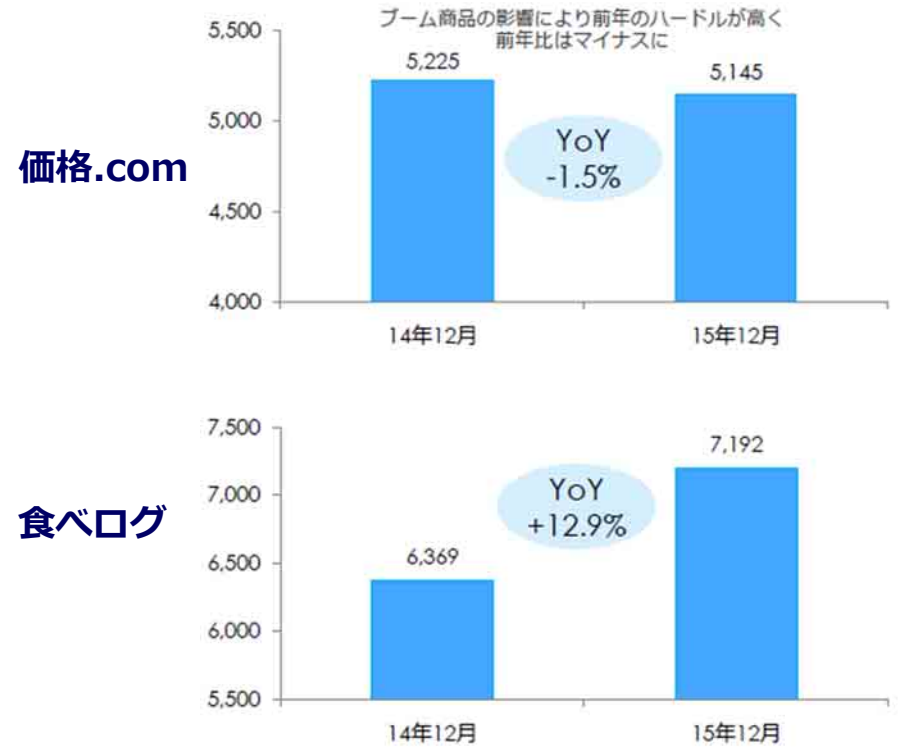
【税引前当期純利益】

(単位：百万円)



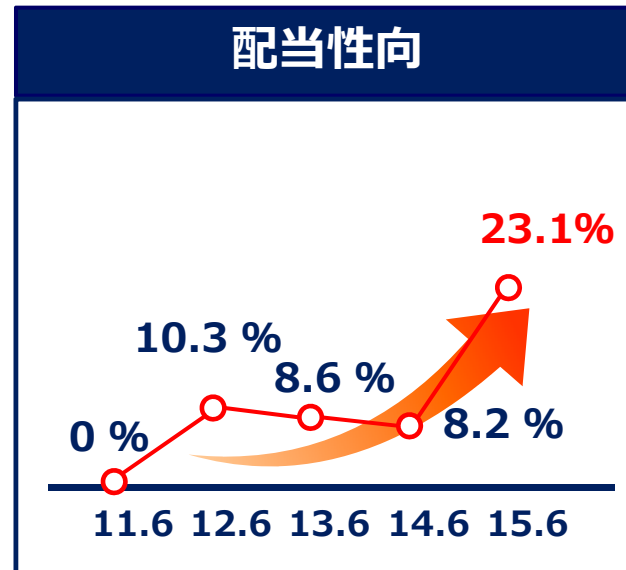
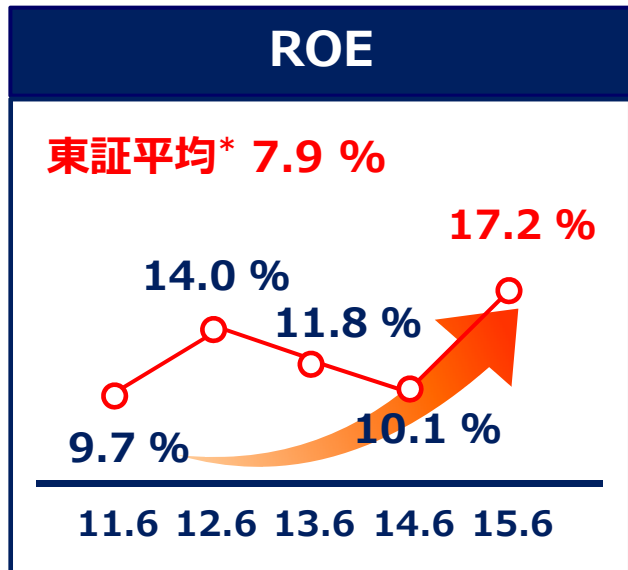
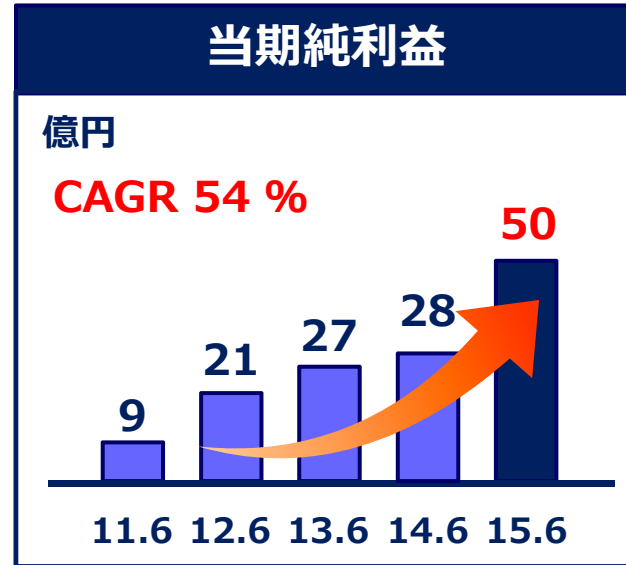
(単位：万人)

【月間ユニークユーザー数】



Note：カカクコム社と当社は決算期が異なるため、当社第3四半期決算にはカカクコム社第3四半期決算(4-12月)を取込み

カカクコム社 2016年3月期第3四半期決算説明資料より



Note) * 東京証券取引所 2015年3月期決算短信集計 (市場第一部、市場第二部、JASDAQ、マザーズ)

単位：百万円	2015.6期				2016.6期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	8,126	9,760	8,377	11,822	10,336	9,507	11,631
営業利益	390	1,347	461	2,610	1,425	201	1,477
経常利益	1,165	2,297	928	3,218	1,863	831	1,887
税金等調整前当期純利益	1,204	4,488	972	2,582	1,941	860	1,933
親会社株主に帰属する当期純利益	772	2,733	571	1,004	1,196	599	1,510










単位：百万円	2015.6期				2016.6期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	8,126	9,760	8,377	11,822	10,336	9,507	11,631
IT インキュベーションテクノロジー	1,035	1,987	697	3,733	1,899	657	1,863
MT マーケティングテクノロジー	3,669	4,111	4,003	4,279	4,502	4,730	5,648
FT フィナンシャルテクノロジー	3,421	3,661	3,675	3,810	3,934	4,118	4,119
MI メディアインキュベーション	-	-	-	-	-	-	-
税金等調整前当期純利益	1,204	4,488	972	2,582	1,941	860	1,933
IT インキュベーションテクノロジー	93	1,026	△ 8	1,692	1,064	△ 215	879
MT マーケティングテクノロジー	236	287	316	224	247	313	386
FT フィナンシャルテクノロジー	391	391	373	179	413	453	440
MI メディアインキュベーション	443	2,686	682	664	627	566	683

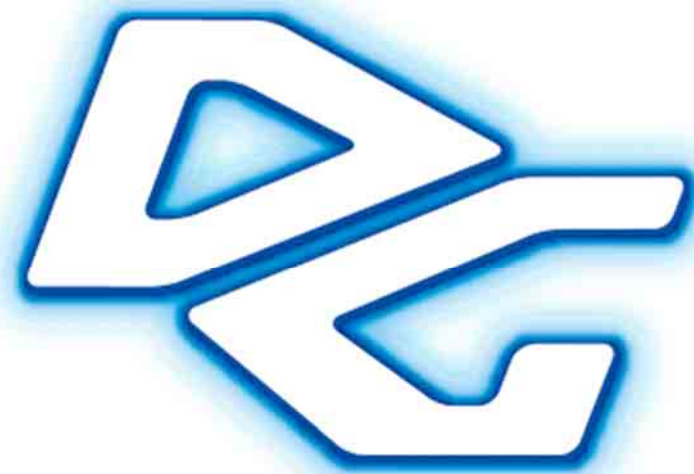
Note: セグメント税金等調整前当期純利益は、セグメント間取引消去及び全社費用等控除前

リリース日		リリース内容
2016年5月9日	 Digital Garage	デジタルガレージ、世界を舞台に独創的な挑戦を続けるリーダーを応援する「デジタルガレージ ファーストペンギンアワード」を創設
2016年4月28日	 Digital Garage	デジタルガレージ、横浜銀行と協業し地方創生推進プロジェクトを発足 第一弾として横浜バンクカード会員向け優待サービス「ハマトク」を提供開始
2016年4月26日	 veritrans	ベリトランス、加盟店の安全な決済サービス導入を証明する「セキュアペイメントロゴ」を刷新
2016年4月25日	 veritrans	オリコ、クレジットカード決済サービス「mPOS」を提供開始
2016年3月28日	 Digital Garage	クレディセゾン、アイリッジに追加投資しデジタルガレージとの三社連携を強化
2016年3月24日	 veritrans econtext	ベリトランスとイーコンテクト、リクルートライフスタイル提供の『モバイル決済 for Airレジ』にて、4月よりLINE Pay バーコード決済開始
2016年3月22日	 Digital Garage	デジタルガレージ、インバウンド消費を促進する店頭サービスを開発 第一弾をココカラファインヘルスケアと実施
2016年2月19日	 DG INCUBATION	DGインキュベーション投資先であるGoodpatch社が、4億円の資金調達を完了
2016年2月12日	 Digital Garage	デジタルガレージ、ソフトウェア開発を手がける米国子会社の事業をシリコンバレーのクラウドソフトウェア大手Pivotalに売却
2016年2月10日	 Digital Garage	デジタルガレージ、カスタマー・コミュニケーションズと資本業務提携 マーケティング事業での連携を推進
2016年2月4日	 DG INCUBATION	デジタルガレージ、ブロックチェーン技術開発のBlockstreamに出資 FinTech関連プロダクトの実証実験で連携へ
2016年2月2日	 Digital Garage	デジタルガレージ、著名クリエイターのレイ・イナモト氏が立ち上げたグローバルブランドの支援企業Inamoto & Co.にリード出資
2016年1月18日	 Digital Garage	デジタルガレージのオンライン決済事業、年間総取扱高が1兆円を突破、スマホ決済の浸透などを追い風に、年間総取扱件数は2億件を超える

リリース日		リリース内容
2016年1月14日	 Digital Garage	デジタルガレージ、アフィリエイト広告掲載メディアのサイトパトロール体制を強化
2015年12月16日	 Digital Garage	デジタルガレージ、ゲーム向けのイラスト・3DCG制作のフォーモアに出資、国内外の3000名のクリエイターを束ねたクラウドソーシングサービスを提供
2015年12月7日	 veritrans	ベリトランス、さくら観光の展開する高速バスサービスに、音声自動応答型カード決済ASPサービスを提供開始
2015年12月3日	 Digital Garage	デジタルガレージ、三井住友カードと共同で「GlobePass」のサービスサイトをリニューアル
2015年12月1日	 NaviPlus	ナビプラス、クロスボーダーEC分野及びセキュリティ分野に事業領域を拡大
2015年11月19日	 veritrans	ベリトランス、リクルートライフスタイルが提供するモバイル決済サービス『モバイル決済 for Airレジ』でLINE Payと提携
2015年11月17日	 veritrans	ベリトランス、中小企業向け簡易決済サービス『VeriTrans Air』で、決済ページURL記載メールを管理画面より自動送信できるメールリンク機能を提供開始
2015年11月16日	 Digital Garage	デジタルガレージ、三井住友カードの会員向けアプリ「Vpassアプリ」のリニューアルを設計、開発
2015年11月16日	 Digital Garage	デジタルガレージ、キュレーションメディアDiggに出資、サービスの日本展開を支援
2015年11月5日	 Digital Garage	デジタルガレージ、Open Network Labのグローバル展開を本格化、北米と欧州、アジアをつなぎ、世界を目指す起業家を支援へ
2015年11月4日	 Digital Garage	デジタルガレージ、人工知能エンジン搭載のECサイト向け販促サービス「ZenClerk」を運営するEmotion Intelligence社に出資
2015年11月2日	 Digital Garage	デジタルガレージ米国法人とスクラムベンチャーズが業務提携 日本企業のシリコンバレー進出を共同で支援へ
2015年11月2日	 DG INCUBATION	デジタルガレージ、企業向けITサービス開発のグローバルソーシング事業「セカイラボ」を展開するモンスター・ラボ社に出資

リリース日		リリース内容
2015年10月30日	 veritrans	ベリトランス、りそなグループのECマルチ決済サービス「りそなPayResort」の決済基盤に「VeriTrans3G」提供
2015年10月23日	 Digital Garage	デジタルガレージ、「THE NEW CONTEXT CONFERENCE 2015 San Francisco」を開催
2015年10月20日	 veritrans	コマースソリューション大手のデマンドウェアとベリトランスが提携「デマンドウェア コマースクラウド」に決済サービス「ベリトランス3G」との連携機能を標準搭載
2015年10月19日	 Digital Garage	デジタルガレージ、三井住友カード、アイリッジが協業し「三井住友VISA太平洋マスターズ」公式アプリをリニューアル
2015年10月13日	 econtext	イーコンテキスト、教習所向けクレジットカード決済「免許PAY」を提供開始
2015年10月2日	 Open Network Lab	Open Network Lab、起業家育成プログラム「Seed Accelerator Program」第12期生の募集を開始
2015年10月1日	 veritrans	金融大航海時代に向けたベリトランス新経営体制について
2015年10月1日	 Digital Garage	デジタルガレージ、MITメディアラボの客員研究員を公募
2015年9月29日	 veritrans	ベリトランスがリクルートライフスタイル、Alipay（アリペイ）と提携へ、日本初のAlipay国際決済の対面決済を「Airレジ」で提供
2015年9月24日	 veritrans	パルコが「カエルパルコ」にBuySmartJapanを採用し、訪日観光客をオンラインストアでリピーターにすることで海外販売を強化
2015年9月15日	 Digital Garage	デジタルガレージ、在日フランス大使館貿易投資庁と共同で「フレンチテック東京第一回ピッチセッション」を開催
2015年9月15日	 Digital Garage	デジタルガレージ、台湾「HAPPY GO」と協業、台湾最大のポイントサービスを日本国内で独占的に提供へ
2015年9月7日	 Digital Garage	デジタルガレージ、役職員の独立支援制度を拡充、適用対象を拡大し「ファーストペンギン・スピリット」の実践を促進

リリース日		リリース内容
2015年9月7日	 Veritrans	「小さなお葬式」のユニクエストとベリトランスが提携し全国の葬祭事業者へ10月から「モニペイ（セレモニーあんしん決済）」を提供、葬儀費用のクレジットカード支払いを可能に
2015年9月7日	 BI.GARAGE	BI.GarageとUBICが協業し、日本初となる人工知能を活用したSNSマーケティング支援サービスを開始
2015年8月31日	 Veritrans	三井住友カードとベリトランスが共同で「GlobePass」会員を対象に「BuySmartJapan」優待キャンペーンを開始
2015年8月26日	 Digital Garage	デジタルガレージ、ウィルゲートと協業しコンテンツマーケティング支援事業を開始
2015年8月7日	 Digital Garage	講談社とデジタルガレージがコンテンツ事業の北米展開を本格開始
2015年8月3日	 NaviPlus	ナビプラス、ウェブサイト離脱したユーザにリアルタイムにメール配信する新サービス「NaviPlusリタゲメール」を提供開始
2015年8月03日	 Digital Garage	デジタルガレージ、ジャックスにプライベートDMPの提供を開始
2015年7月17日	 DG INCUBATION	DGインキュベーションの出資先である株式会社アイリッジ、東証マザーズ上場
2015年7月8日	 Digital Garage	デジタルガレージ、西日本におけるWeb広告事業を本格展開へ 専門部署を発足し大阪を中心とした営業活動を強化



Digital Garage

本資料に記載された今後の見通し、戦略などは現在の弊社の判断であり、様々な要因の変化により、将来の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。この文書は、投資家向け説明資料として一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。また、この文書は、米国その他証券の売付けまたは買付けの勧誘を行うにあたり証券法の登録または資格要件の充足が必要となる地域における証券の売付けまたは買付けの勧誘を構成するものではありません。当社又は当社連結子会社の証券いかなる証券も米国の1933年証券取引法（以下「1933年米国証券法」といいます。）に基づいた登録がなされておらず、1933年米国証券法に基づく登録を行うか、または登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の売付けまたは勧誘を行うことはできません。米国において証券の公募を行う場合には、公募を行う会社およびその経営陣ならびに財務諸表に関する情報を記載した目論見書によって行うこととなります。